



多重極限物質科学研究センター 研究発表会

第3回

極限条件下の研究から広がる物質科学

物性研究を基軸とする教育・研究を行い、社会に貢献することが物質理学研究科の目的です。これを達成するために、本研究センターは“一桁上の多重極限条件”を掲げています。一桁上の極限条件下実験手法を確立し、新奇物性現象の発現と解明を目指す卓越した研究・教育の場を実現し、高いレベルの理学の教育と研究を実践することを目指しています。今回の研究発表会では、学外から時間分解軟X線光電子分光分野で活躍されている若手研究者をお招きし、最新の研究成果を発表していただきます。さらに、センター所属の博士前期課程2年生が修士論文の進捗状況を報告し、センター全教員による分野を超えた研究指導を行います。

会場 理学部 研究棟 739号室

日時 2014年12月25日(木) 10:00~16:40

プログラム

10:00	開会の辞 小林寿夫 多重極限物質科学研究センター長
10:05	山本達先生 東京大学/物性研究所 招待講演 時間分解軟X線光電子分光法による表面キャリアダイナミクスの研究
光物性学分野	
10:45	岸本良 半導体微小光共振器の偏光変調分光
11:05	休憩 11:05~11:15
X線光学分野	
11:15	角田和浩 X線多層膜ゾーンプレートの高空間分解能化 福田修平 放射光X線によるNaフラックス法GaN単結晶基板の結晶性評価 松村篤恭 全反射ゾーンプレートの直交直列配置による二次元集光特性評価
12:15	写真撮影・昼休憩 12:15~13:15
量子物性学分野	
13:15	安田明子 Ce(Ru _{1-x} Fe _x) ₂ Al ₁₀ の ⁵⁷ Feメスbauer分光法による磁性研究 永澤延元 ⁵⁷ Feメスbauer分光法によるM型Srフェライトにおける元素置換効果の研究 岡前裕基 Eu Γ In ₄ ($\Gamma = \text{Ni, Pd, Pt}$)における高圧力下の磁気異方性研究 井上遼一 EuGe ₂ の純良単結晶育成と圧力下の磁性
14:35	休憩 14:35~14:45
極限状態物性学分野	
14:45	水木悠斗 固体水素III相の構造と物性研究 石原大輔 酸素-窒素二元系の高圧低温構造相転移の研究 山下寛倫 酸素-窒素二元系の高圧低温磁気相転移の研究
15:45	休憩 15:45~15:55
電子物性学分野	
15:55	川勝大地 空間反転対称性のない超伝導体の自発磁化の研究 藤沢拓実 極低温磁化測定技術の開発と高精度磁気測定
16:35	閉会の辞 本間健二 物質理学研究科長



多重極限物質科学研究センター
Center for Novel Material Science under Multi-Extreme Conditions
<http://www.sci.u-hyogo.ac.jp/material/Centers/MEX/index.html>